



琉球大学

第47号

同窓会会報

Alumni Association University of the Ryukyus

2025年3月21日



目次

- 会長あいさつ 2
- 学長ごあいさつ 3
- 琉球大学同窓会創立70周年記念 チャリティーゴルフ大会 4~5
- 琉球大学同窓会創立70周年記念 植樹式 6
- 琉球大学同窓会創立70周年記念「沖縄の未来を語り未来に繋ぐ」講演会 7
- 琉球大学同窓会創立70周年記念 華やかに舞台彩る～芸術祭～ 8
- 琉球大学同窓会創立70周年記念 功労者表彰など節目祝う記念式典・祝賀会 10
- 友寄隆文氏寄付金贈呈式 14
- 2024年度定期総会 16
 - 2023年度決算・2024年度予算概要 16
 - 2024年度事業計画 17
- 琉球大学同窓会 学生への支援事業
 - 2024年度 給付型奨学金事業 18
 - 「千原(せんばる)奨学金」を受けて 18~19
 - 「芭蕉(ばしょう)奨学金」を受けて 19~20
 - 教員候補者選考試験対策講座 21
 - 教員候補者選考試験合格体験記 22
- 同窓会活動
 - 岸本正之氏顕彰碑セレモニー 23
- 留学生と地域を結ぶ温かい交流
 - ～留学生ホームビジットの開催～ 24~25
- 支部活動報告
 - 支部長・事務局長連絡先 26
 - 各支部活動報告 26~30
- 琉球大学医学部および病院の移転 31
- 活躍する同窓生インタビュー
 - 沖縄県農業協同組合 理事長 前田典男氏 ... 32
 - コザ信用金庫 会長 金城馨氏 33
- 母校情報 サークル活動報告
 - 琉球大学ソフトボール部 34
 - 琉球大学管弦楽団 34
- 社会貢献活動
 - 琉球放送「応援!18の旅立ち」への支援 35
 - 第50回沖縄寮歌・大学の歌祭り 36
- 文芸投稿コーナー 37
- ご寄付を頂いた個人・企業等 38~40
- 学生支援事業紹介(2025年度) 41
- 2024年度同窓会三役・事務局長紹介 46
- 会報第47号編集委員 46
- 2024年度同窓会役員 47
- 2025年度「定期総会」のご案内

会長あいさつ



琉球大学同窓会第9代会長
(教育学部体育科 1966年卒 14期)

幸喜徳子

昨年12月に琉球大学同窓会は創立70周年を迎え、会員数は8万9千人余を擁するまでになりました。この節目に会長としてごあいさつの機会に恵まれたことを光栄に存じております。

一昨年来、70周年記念募金推進委員会を発足し、県内経済界のトップリーダーの皆様には委員として、多大なるご尽力を賜り誠に有難うございました。

特に沖縄銀行頭取の山城正保委員長、コザ信用金庫の金城馨会長が副委員長として特段の活動をしていただいたほか、委員及び県民の皆様のご協力により目覚ましい成果を上げることができ衷心より感謝申し上げます。

さらに特筆すべきは恵和興産株式会社社長の友寄隆文・桂子ご夫妻より1億円という前代未聞の高額なご寄付を賜り、当会の歴史に残る出来事でした。

今年から給付型奨学生を3名増員し、毎年10名の各学生に60万円、その他10名の学生には海外留学を支援する予定です。

さて、今年度は「絆をつむぎ未来につなぐ」をキャッチフレーズに70周年記念事業を進めて参りました。

募金推進委員会活動、植樹祭、記念講演会、洋楽、伝統芸能を網羅し250名以上の出演を頂き芸術祭を行いました。その後、記念式典、祝賀会を沖縄県玉城デニー知事、西田睦学長はじめ県内経済界の皆様、全国の支部長や役員をご招待の上、多くの同窓生の皆様にもご参加いただいて盛会裏に終えることができました。

現在はそれら諸行事を網羅し記念誌作成に取り掛かっております。

このたびは同窓生をはじめ多くの県民、さらに同窓会役職員の皆様の熱気あふれるご協力のお陰で行事をつつがなく終えることができ、心より感謝申し上げます。

さて、琉球大学では西田学長が本年3月に退任され、喜納育江副学長が4月から学長にご就任されます。ご両人の更なるご活躍を祈念申し上げます。

結びに歴代会長の方々のご尽力に感謝しつつ、本年も役職員一同、ますます同窓会の発展を願って日々精進いたす所存です。

なにとぞ末長くご支援下さいますようお願い申し上げます。

今後とも母校の更なるご発展と、皆様のますますのご健康、ご多幸を祈念申し上げ、会長あいさつと致します。

2025年3月吉日

学長ごあいさつ



人の育成こそ大学の最大の使命

琉球大学 第17代学長

西田 睦

琉球大学同窓会の皆さまには、本学の学生への教員候補者選考試験対策講座の無償開講や給付型の琉球大学同窓会奨学金、留学生を対象としたホームビジット事業の実施など、継続的にまた長期にわたり、多大な、そして温かなご支援をいただき、深く感謝申し上げます。このような同窓会のご支援も得て、大学の最大の使命である人材育成にしっかりと取り組むことができ、心強く感じております。同窓会地方支部の各支部総会において、皆さまへ支援に対するお礼と本学の状況を直接お伝えできることが出来たことも、大変嬉しいことでした。

現在、本学では医学部及び大学病院を西原町から宜野湾市の西普天間キャンパスへ移転する事業を進めています。大学病院は2025年1月に新キャンパスで開院を迎え、新病院での診療を無事開始できました。現在は本年4月の医学部開学に向け、鋭意準備を進めております。移転完了後は、大学全体で新キャンパスでの教育・研究・診療そして地域との連携を進めていきます。

さて、本学ではDX(デジタルトランスフォーメーション)を通じた業務改善や組織・活動の改革に「琉大トランスフォーメーション(RX)」推進プロジェクトとして鋭意取り組んでおり、着実に成果が得られつつあります。この成果を地域に広げ、地域の企業等とともに人材育成・リスクリソングなどの課題に取り組むため「デジタルリスクリソング協働推進ラボラトリー」(Dラボ)を設置しました。沖縄地域の最大の課題のひとつである労働生産性の向上に貢献するため、本学と内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、経済団体、教育機関及び企業等計13機関と2024年11月に連携協定を締結し、本取り組みをスタートしました。今後さらにこの事業に参画する機関を増やし、沖縄におけるデジタル人材の育成に取り組み、地域の活性化と発展に尽力して参ります。

このような活動の基盤として、本学の全構成員が安全に、かつ安心して学び、働くことのできる環境は極めて重要です。本学はこのような環境をさらに整えるとともに、ハラスメントや性暴力・セクシュアリティに関する教育研究を進め、その成果を地域に還元すべく、「琉球大学ヒューマンライツセンター」を設置しました。県内の高等教育機関と連携しつつ、多様な人材の集う豊かな教育研究基盤の形成・発展に努めます。

同窓会の皆さまにおかれましては、本学と在学生、卒業生そして地域を結ぶ要として、今後とも母校と後輩への篤いご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。同窓会のますますのご発展を祈念いたします。

2025(令和7)年1月吉日

70 琉球大学同窓会創立70周年記念

チャリティーゴルフ大会

2024年4月9日(火)、琉球ゴルフ倶楽部において同窓会創立70周年記念チャリティーゴルフ大会を開催しました。参加者は68組266名で、74企業・個人から賞品および寄付金のご提供があり、また、同窓生やJAおきなわ等のボランティア支援がありました。

当日は、時折小雨が降る天候になりましたが、参加者がナイスプレーや珍プレーで盛り上げていただき、大会は成功裏に終了しました。大会収益金約83万円(諸経費を除いた額)は給付型奨学金などの学生支援に大切に活用します。

大会開催にあたり、実行委員会の皆さま、大会参加者、協賛企業・個人、琉球ゴルフ倶楽部、同窓生ボランティアの方々に心より感謝申し上げます。

なお、表彰式は7月13日(土)同窓会定期総会冒頭で実施しました。

大会入賞者は次のとおりです。

入賞区分	氏名	賞品
優勝	柳田 幸春	JAL沖縄・東京往復ペア航空券
男性2位	豊平 朝文	泡盛五升壺
男性3位	新垣 一紀	キャディーバッグ
女性1位	井 美千子	キャディーバッグ
女性2位	玉元江美子	キャディーバッグ
女性3位	仲本有紀子	商品券1万円、電気ケトル
男性ベストグロス	村上 利雄	キャディーバッグ
女性ベストグロス	野里 裕子	商品券1万円、ダイキンオーキッド記念ボール1ダース



スタート前会長あいさつ



スタート前集合写真



植樹式

2024年6月18日(火)、琉球大学同窓会創立70周年記念植樹式を本学キャンパス内の50周年記念館で開催しました。

式では、幸喜徳子同窓会長、西田睦琉球大学長、安里昌利那覇空港ビルディング社長からあいさつがあり、同窓会70周年に向けた展望や懐かしいエピソードなどが披露されました。

続いて、50周年記念館前の緑地帯で代表者6名による土入れ式を行い、花の咲く樹木(クチナシ、ピンクテコマ、プルメリア、サンゴジュ、テイキンザクラ)の5本を植樹しました。

小雨が降り、傘をさしての植樹となりましたが、これも一興と皆さん楽しげで、思い出深い記念植樹式となりました。



記念植樹式の集合写真



土入れ式の様子



植樹式後の記念撮影

「沖縄の未来を語り未来に繋ぐ」講演会

創立70周年記念事業の一環として、2024年7月13日(土)にパシフィックホテル沖縄にて「沖縄の未来を語り未来に繋ぐ」をテーマに講演会を開催しました。講師には(株)ぬちまーす代表取締役社長高安正勝氏、那覇空港ビルディング(株)代表取締役社長安里昌利氏、ジャパンハートこども医療センター小児科部長嘉数真理子氏の3名が登壇しました。講演会では、産業、経済、医療といった各分野の第一線で活躍する3名の講師をお招きし、それぞれの視点から沖縄の未来と夢について熱く語っていただきました。参加者は、講師陣の貴重な話に熱心に耳を傾け、講演後には活発な質疑応答も行われました。



琉球大学同窓会創立70周年記念

講演会

「沖縄の未来を語り未来に繋ぐ」

日時 2024年7月13日(土) 15:20-17:20
 場所 パシフィックホテル沖縄 2F ワイケレ
 講師 3名の講師が産業・経済・医療の未来と夢を語ります

どなたでも参加自由！
 入場無料



ぬちまーすの次に
(株)ぬちまーす
 社長 高安 正勝 氏



沖縄の経済と那覇空港
(株)那覇空港ビルディング
 社長 安里 昌利 氏



ジャパンハートの活動
ジャパンハートこども医療センター
 小児科部長 嘉数 真理子 氏

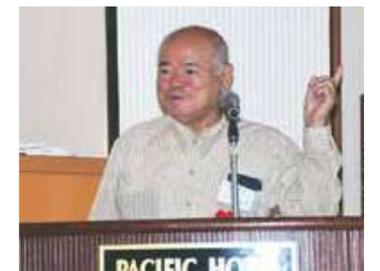
2024年度
琉球大学同窓会 定期総会

期日 2024年7月13日(土)
 場所 パシフィックホテル沖縄 2F

時間 14:00-15:00 定期総会 ワイケレ (同窓生対象)
 15:20-17:20 講演会 ワイケレ (同窓生・一般)
 17:30-19:00 懇談会 カネオハ (同窓生・一般)

懇談会は会費制 (同窓生・一般 4000円、学生 2000円)

【お問い合わせ】 〒903-0213 沖縄県西原町字千原1番地 琉球大学同窓会 事務局
 TEL.098-895-8039 E-mail: doujou06@jim.u-ryukyu.ac.jp



華やかに舞台彩る ～芸術祭～

琉球大学同窓会創立70周年を記念する芸術祭が、2025年2月11日(火)にアイム・ユニバースでだこ大ホールにて盛大に開催されました。会場には約700名もの人々が詰めかけ、熱気に包まれました。

芸術祭は二部構成で行われ、第一部では西洋音楽が披露されました。琉球大学アカデミックコーラスと琉球大学同窓会70周年記念オーケストラが、荘厳で美しい音色を奏でました。続く第二部では、琉球芸能技能保持者らとともに舞台を彩りました。琉球大学郷土芸能クラブOB・OG、琉球大学琉球芸能研究クラブOB・OG、琉球大学八重山芸能研究会OB・OGをはじめとする同窓生たちが、伝統と情熱あふれるパフォーマンスを繰り広げました。

70年の歴史を祝うにふさわしい、感動と興奮に満ちた一日となりました。



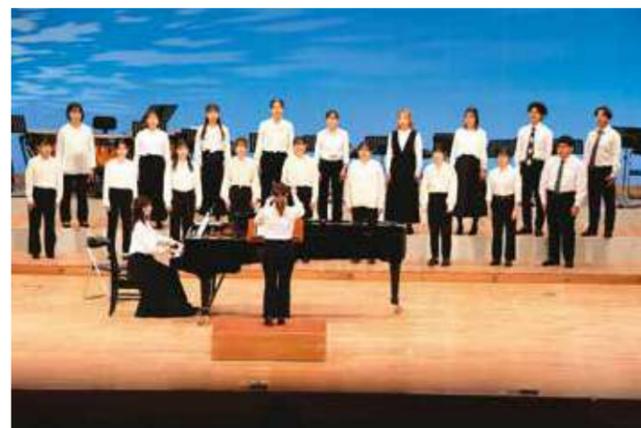
幸喜徳子会長



開幕斉唱



琉球大学同窓会 70周年記念オーケストラ



琉球大学アカデミックコーラスの合唱



創作舞踊劇「コハデサアブシ」



舞踊 雑踊「浜千鳥」



組踊「執心鐘入」



八重山民謡「とっばら一ま」



創作舞踊劇「アッチャメー」



司会 島袋千恵美さん

70 琉球大学同窓会創立70周年記念

功労者表彰など節目祝う 記念式典・祝賀会

「絆をつむぎ未来につなぐ」をテーマに琉球大学同窓会創立70周年記念式典が2025年2月22日(土)、パシフィックホテル沖縄で催され、約150人の出席者が同窓会の輝かしい歴史を振り返り、節目を祝いました。幸喜徳子会長はあいさつで、これまで活動を支えてきた先輩諸氏に敬意と謝意を表すとともに、奨学金制度のさらなる充実など「学生支援と同窓生の絆づくりに尽力したい」と述べました。

式典では同窓会から琉大へ500万円、医学科同窓会へ200万円の寄付金贈呈や、記念事業の募金活動に尽力した企業、個人への感謝状贈呈、功労者表彰などが行われました。式典では1億円を同窓会に寄付した友寄隆文氏(恵和興産社長)が受賞者代表あいさつを行いました。式典後は祝賀会が催され、世代を超えて和やかに交流しました。



記念撮影



琉球大学同窓会 幸喜 徳子会長



友寄隆文社長、桂子夫人



福治友英副学長



崎原盛秀西原町長



山城正保琉球大学後援財団理事長



感謝状贈呈



琉球大学へ寄付金贈呈



蔵下要医学部医学科同窓会会長へ寄付金贈呈



拍手を送る受賞者



琉球大学法政工イサーによる余興



司会(右)比嘉俊次さん(琉球放送アナウンサー)と前泊美紀さん(同窓会評議員)

琉球大学同窓会創立70周年 記念式典・祝賀会



琉球大学逍遙歌、琉球大学の歌の合唱



記念撮影



乾杯のあいさつを述べる安里昌利那覇空港ビルディング社長



来賓祝辞を述べる武富和彦沖縄タイムズ社長



来賓祝辞を述べる大城肇琉球大学 前学長



あいさつを述べる幸喜徳子同窓会会長



「かぎやで風」を踊る左から宮城伸子同窓会評議員 渡久地美代子氏 高嶺美和子同窓会評議員



「かなよう」を踊る高嶺久枝同窓会書記



大城 純市同窓会副会長

0周年 記念祝賀会



仲宗根忠真さんによる空手の演舞



声高々に乾杯



友寄隆文氏寄付金贈呈式

琉球大学OBで株式会社恵和興産代表取締役の友寄隆文氏（78歳）が琉球大学同窓会に1億円の高額寄付を行うことになり、2024年10月10日、50周年記念館で寄付金贈呈式が開催されました。贈呈式には友寄氏夫人の桂子さんも同席し、出席した60名余の関係者が感謝と敬意の気持ちを伝えました。

冒頭のあいさつで友寄氏は、「この寄付は琉球大学の学生に対して奨学金として広く活用していただくためのものです」と寄付の趣旨を説明、「人材の育成には『広い視野と長期的な展望』が必要」と自身の熱い思いを述べました。寄付金の使い道については「学業を継続していく上で、または海外へ留学する上で経済的に困難に直面している学生に重点的に配分してほしい」と要望しました。

このあと同窓会の幸喜徳子会長が「1億円という前代未聞の大金を同窓会に恵贈いただいた友寄代表、桂子夫人に衷心よりお礼を申し上げます」とあいさつ、友寄氏の希望に沿う形で「T氏奨学金」を創設して浄財を活用していくと話しました。

琉大在学時は苦学生だったという友寄氏。経済的な理由で学業を諦めようとする学生が1人でも多く救われるようにと2020年にも同窓会に1千万円を寄付しています。今回の贈呈式で友寄氏は、恵まれない学生への思いとともに「幸喜会長の人間的な魅力と人柄に触れたのが、寄付のもう一つの大きな動機でした」とも明かしました。

このあと、西田睦氏（琉球大学学長）、稲嶺恵一氏（元沖縄県知事、同窓会創立70周年記念募金推進委員会特別顧問）、豊平良孝氏（前沖縄タイムス社社長）、高安正勝氏（株式会社ぬちまーす代表取締役）があいさつ、最後に奨学生代表で2025年にシンガポール留学を予定している外間正也さん（医学部医学科5年次）が感謝の言葉と留学への決意を述べました。

贈呈式後は記念撮影や友寄氏を囲んだ和やかな歓談が行われました。



寄付の趣意書

この寄付は、琉球大学在学中の学生に対して「奨学金」として、広く活用していただく為に行うものです。人材の育成には『広い視野と長期的な展望』が必要であると思います。琉球大学同窓会が、この寄付を財源として「みらいを創る人材育成プログラム」を作成し、そのプログラムの活用によって世界を支える多様な人材が琉球大学から輩出されることを願っています。なお、寄付者としては学費に該当する学生に「奨学金」を重点的に配分してほしいと思います。

- ①、学業を継続していく上で経済的な困難に直面している学生
- ②、海外へ留学する上で経済的に困難に直面している学生

令和六年十月一日
寄付金額 金 1億円
寄付者 友寄隆文

多様な人材が輩出されるよう願う
恵和興産の友寄隆文代表が琉大同窓会に1億円寄付

琉球大学OBで株式会社恵和興産代表取締役の友寄隆文氏（78歳）が琉球大学同窓会に1億円の高額寄付を行うことになり、2024年10月10日、50周年記念館で寄付金贈呈式が開催されました。贈呈式には友寄氏夫人の桂子さんも同席し、出席した60名余の関係者が感謝と敬意の気持ちを伝えました。

冒頭のあいさつで友寄氏は、「この寄付は琉球大学の学生に対して奨学金として広く活用していただくためのものです」と寄付の趣旨を説明、「人材の育成には『広い視野と長期的な展望』が必要」と自身の熱い思いを述べました。寄付金の使い道については「学業を継続していく上で、または海外へ留学する上で経済的に困難に直面している学生に重点的に配分してほしい」と要望しました。

このあと同窓会の幸喜徳子会長が「1億円という前代未聞の大金を同窓会に恵贈いただいた友寄代表、桂子夫人に衷心よりお礼を申し上げます」とあいさつ、友寄氏の希望に沿う形で「T氏奨学金」を創設して浄財を活用していくと話しました。

琉大在学時は苦学生だったという友寄氏。経済的な理由で学業を諦めようとする学生が1人でも多く救われるようにと2020年にも同窓会に1千万円を寄付しています。今回の贈呈式で友寄氏は、恵まれない学生への思いとともに「幸喜会長の人間的な魅力と人柄に触れたのが、寄付のもう一つの大きな動機でした」とも明かしました。

このあと、西田睦氏（琉球大学学長）、稲嶺恵一氏（元沖縄県知事、同窓会創立70周年記念募金推進委員会特別顧問）、豊平良孝氏（前沖縄タイムス社社長）、高安正勝氏（株式会社ぬちまーす代表取締役）があいさつ、最後に奨学生代表で2025年にシンガポール留学を予定している外間正也さん（医学部医学科5年次）が感謝の言葉と留学への決意を述べました。

贈呈式後は記念撮影や友寄氏を囲んだ和やかな歓談が行われました。

琉球大学OBで株式会社恵和興産代表取締役の友寄隆文氏（78歳）が琉球大学同窓会に1億円の高額寄付を行うことになり、2024年10月10日、50周年記念館で寄付金贈呈式が開催されました。贈呈式には友寄氏夫人の桂子さんも同席し、出席した60名余の関係者が感謝と敬意の気持ちを伝えました。

冒頭のあいさつで友寄氏は、「この寄付は琉球大学の学生に対して奨学金として広く活用していただくためのものです」と寄付の趣旨を説明、「人材の育成には『広い視野と長期的な展望』が必要」と自身の熱い思いを述べました。寄付金の使い道については「学業を継続していく上で、または海外へ留学する上で経済的に困難に直面している学生に重点的に配分してほしい」と要望しました。

このあと同窓会の幸喜徳子会長が「1億円という前代未聞の大金を同窓会に恵贈いただいた友寄代表、桂子夫人に衷心よりお礼を申し上げます」とあいさつ、友寄氏の希望に沿う形で「T氏奨学金」を創設して浄財を活用していくと話しました。

琉大在学時は苦学生だったという友寄氏。経済的な理由で学業を諦めようとする学生が1人でも多く救われるようにと2020年にも同窓会に1千万円を寄付しています。今回の贈呈式で友寄氏は、恵まれない学生への思いとともに「幸喜会長の人間的な魅力と人柄に触れたのが、寄付のもう一つの大きな動機でした」とも明かしました。

このあと、西田睦氏（琉球大学学長）、稲嶺恵一氏（元沖縄県知事、同窓会創立70周年記念募金推進委員会特別顧問）、豊平良孝氏（前沖縄タイムス社社長）、高安正勝氏（株式会社ぬちまーす代表取締役）があいさつ、最後に奨学生代表で2025年にシンガポール留学を予定している外間正也さん（医学部医学科5年次）が感謝の言葉と留学への決意を述べました。

贈呈式後は記念撮影や友寄氏を囲んだ和やかな歓談が行われました。

2024年度定期総会

2024年7月13日(土)、パシフィックホテル沖縄で2024年度定期総会を開催しました。

総会に先立ち、4月に開催したチャリティーゴルフ大会の表彰式を行いました。

総会は、幸喜徳子同窓会会長あいさつ、西田睦琉球大学学長あいさつの後、議長団及び議事録署名人選出を行い、議長団進行により第1号議案から第6号議案までを審議しました。

議案審議では、大学に対する同窓会費納入支援の働きかけ推進の提案や決算内容確認の質疑応答がありま

したが、第1号から第6号議案まで異議なく原案どおり承認されました。新副会長には上原修、嶺井圭子、神村洋子の3氏が選任されました。

[議案内容]

- 第1号議案 2023年度会務報告
- 第2号議案 2023年度収支決算報告
- 第3号議案 2024年度事業計画案
- 第4号議案 2024年度収支予算案
- 第5号議案 2024年度同窓会役員案
- 第6号議案 創立70周年記念事業計画案



総会前に行われたチャリティーゴルフ大会の表彰式

2024年度事業計画

年 月 日 (曜日)	事業等の名称	関係者・担当者	琉大行事
2024年 6月 13日 (木)	芸術祭実行委員会 6 回目	委員	
20日 (木)	会計監査 (2023 年度決算)	監査員、役員	
22日 (土)	三役会	三役	
29日 (土)	評議員会	役員	
7月 13日 (土)	2024 年度支部長会・定期総会	各支部長、役員	
13日 (土)	講演会、懇親会	一般、同窓生	
14日 (日)	八重山支部総会・懇親会	三役	
25日 (木)	奨学生候補者面接	三役	
27日 (土)	関西支部総会・懇親会	奨学生、三役	
31日 (水)	奨学金授与式	三役	
8月 9日 (金)	奄美支部総会・懇親会	三役	
22日 (木)	芸術祭実行委員会 7 回目	委員	
9月 28日 (土)	三役会	三役	
30日 (月)	式典部会 1 回目	会長、委員	
10月 5日 (土)	会報編集委員会 1 回目	三役	
19日 (土)	関東支部総会・懇親会	三役	
24日 (木)	芸術祭実行委員会 8 回目	委員	
11月 2日 (土)	九州・山口支部総会・懇親会	留学生、役員等	
7日 (木)	会報編集委員会 2 回目	委員	
16日 (土)	留学生ホームビジット	関係者	
18日 (月)	式典部会 2 回目	委員	
21日 (木)	会報編集委員会 3 回目	関係者	
23日 (土)	留学生ホームビジット	関係者	
24日 (日)	留学生ホームビジット	関係者	
25日 (月)	久米島支部総会・懇親会	三役	
30日 (土)	三役会	三役	
12月12日 (木)	会報編集委員会 4 回目	委員	
19日 (木)	芸術祭実行委員会 9 回目	委員	
25日 (水)	第 3 回募金推進委員会	委員	
2025年 1月 9日 (木)	芸術祭実行委員会 10 回目	委員	
9日 (木)	会報編集委員会 5 回目	委員	
18日 (土)	三役会	三役	
20日 (月)	式典部会 3 回目	委員	
23日 (木)	会報編集委員会 6 回目	委員	
2月 6日 (木)	芸術祭リハーサル	関係者	
11日 (火)	芸術祭	一般、同窓生	
13日 (木)	会報編集委員会 7 回目	委員	
22日 (土)	記念式典	一般、同窓生	
24日 (月)	沖縄寮歌・大学の歌祭り	同窓生	
27日 (木)	会報編集委員会 8 回目	委員	
3月 15日 (土)	三役会	三役	卒業式
21日 (金)	岸本正之氏顕彰碑セレモニー		
21日 (金)	会報発行 (第 47 号)		
4月 2日 (水)	教員候補者選考試験対策講座開講式	三役、講師、学生	入学式
	琉大岸本基金管理委員会	会長	
	第 4 回募金推進委員会	会長、委員	
5月	三役会	三役	開学記念日

【備考】教員候補者選考試験対策講座は、4月から8月まで22回開催予定

2023年度決算・2024年度予算概要

2023年度決算 (単位:円)	
(1) 収入総額	69,765,385
うち会費収入	10,940,000
(2) 支出総額	15,562,143
①運営費	7,585,786
②事業費	7,976,385
③備品購入費	0
(3) 繰越金額	54,203,242

2024年度予算概要 (単位:円)	
(1) 収入総額	67,105,294
うち会費収入	12,000,000
(2) 支出総額	26,955,000
①運営費	9,340,000
②事業費	16,965,000
③設備積立等	650,000
(3) 繰越金額	40,150,294

2023年度特別会計収支決算 (単位:円)	
(1) 収入金額	4,200,104 (繰越金)
(2) 支出総額	1,200,000
(3) 繰越金額	3,000,104

琉球大学同窓会 学生への支援事業

● 2024年度 給付型奨学金事業

経済的困難に直面している学生を支援するため、同窓会では、2019年度から返済義務のない給付型奨学金事業に取り組んでいます。

奨学金は、千原(60万円、給付3名)と芭蕉(30万円、4名給付)の2種類で、同窓会費や寄付金が財源となっています。

2024年度は、大学から推薦を受けた学生を面接して奨学生7名を決定し、7月31日の授与式で奨学金を給付しました。

[2024年度奨学生]

千原奨学金(年間60万円給付3名)

人文社会学部	1年次	北村 颯汰
国際地域創造学部	4年次	塚本 晃太郎
国際地域創造学部	3年次	井浦 優心

芭蕉奨学金(年間30万円給付4名)

教育学部	2年次	大城 彩裕
理学部	3年次	森下 海都
医学部	5年次	外間 正也
工学部	4年次	又吉 陽幹



奨学金授与式

「千原(せんばる)奨学金」を受けて



人文社会学部 1年次
北村 颯汰

この度は、琉球大学同窓会奨学金に採用していただきありがとうございます。

奨学生に選んでいただいたことを大変光栄に思うとともに、身の引き締まる思いです。

頂いた奨学金は生活費や学費に充てさせて頂くと考えております。私は法律に関する職業に就くことを将来の夢としており、そのためには十分な勉強時間を確保する必要があります。しかしながら、ひとり親である家庭の事情により1人暮らしで学費、生活費を自分で賄っており奨学金を頂くまではアルバイトに割く時間が多く、十分な勉強時間を確保でき

ていたとは言い難い状況でした。こちらの奨学金はそんな状況を打開するきっかけとなるもので、勉強により専念できるようになりました。

最後に、奨学金の給付を希望する学生の皆さんは、教務情報システムのお知らせ欄や学内の掲示板を逐次確認することをおすすめします。確かに小論文等の準備は大変ではあると思いますが、その努力が認められ奨学生に選ばれた時の喜びはひとしおです。こちらの奨学金だけではなく、様々なことに挑戦すれば自己成長にもつながり新たな未来も見えてくると思います。大学生活を充実させるために一緒に頑張らしましょう。



国際地域創造学部 4年次
塚本 晃太郎

この度は、貴重な奨学金を授与していただき、心より感謝申し上げます。私がこの奨学金を受けることができたのは、多くの方々

のご支援とご配慮のおかげです。これからの学びと成長の糧として、いただいた奨学金を大切に活用させていただきます。

私は現在、人類学を専攻しており、この学問は私の将来を構築する大きな要素の一つです。しかし、家庭の事情で金銭的に厳しい面があり、アルバイトに追われ、日々の学業や自分のしたいことに集中することが難しいと感じることもありま

した。今回いただいた奨学金は、卒業論文の執筆、また生活費に使わせていただこうと考えています。

今後奨学金給付を希望している学生は、趣味に対して真摯に取り組むべきであると考えました。奨学金給付を受ける上で重要だと感じたのは「アイデンティティーが確立しているかどうか」です。自分が確立していると、学問や就職にも非常に良い影響を及ぼすので、この度の奨学金給付においても大いに役に立ちました。

改めまして、心温まるご支援に感謝いたしますとともに、今後も精進して参ります。



国際地域創造学部 3年次
井浦 優心(ゆな)

この度は、このような機会をいただき誠にありがとうございます。皆様のおかげで、目標を諦めることなく邁進できていま

す。本当にありがとうございます。

奨学金の主な使い道としては、交換留学のために使用させていただきます。現在私は、ヨーロッパに交換留学に来ていますが、近年の円安の影響を直に受けています。日本と比べると物価も高いので、日本人留学生にとっては大きな痛手になっています。しかし、今回奨学生として選んでいただいたので、費用面の心配をせずに勉学や新たな挑戦に集中

することができます。

また、将来の夢としては、航空管制官を目指しています。知り合いの管制官のお話を聞き、プレッシャーを背負いながらも責任感や仕事に対する信念を持つ姿に憧れたためです。同時に、英語に浸かることのできる環境を追い求めていたので、今もやりがいがありとても充実しています。

学生へのアドバイスとしては、何かを始めるときに応援してくれる人が少なくても、諦めずに自分で方法を模索して道を切り開いていくうちに、自然と周りの人たちも協力してくれると思います。この奨学金が顕著な例だと思います。ぜひ夢に向かって頑張ってください。

「芭蕉(ばしょう)奨学金」を受けて



教育学部 2年次
大城 彩裕(あゆ)

この度は、琉球大学同窓会の奨学金を授与していただき心から感謝申し上げます。

頂いた奨学金は、授業料や自分の勉強費用に有効に活用していきたいと考えております。

給付奨学金を頂いたおかげで、経済的な不安が無く学業へ専念することが出来ております。頂いた奨学金を授業料や勉強費用にあてることによって、アルバイトに捉われることなく、勉学第一の充実した大学生活を送ることが出来ると考えております。

また、この奨学金を有効活用し、追求したいと考えている

「教育」について、深く学んでいきたいと考えています。学業に専念できる環境を整え、さらに将来沖縄に貢献できるような英語教師になるための一歩を踏み出していけると考えております。私は、英語教師を目指しており、子どもたちに英語を学習することで広がる可能性や英語を学ぶことの楽しさについて知ってほしいと心から考えています。将来、立派な英語教師になるために、現在、小学校免許、中高英語教師の免許取得に取り組んでおります。

奨学金を受けた者として誇りを持ち、琉球大学同窓会の方々のご厚意を心に留めて日々精進して参ります。改めて、琉球大学同窓会の皆様にご厚意を心に留めて日々精進して参ります。改めて、琉球大学同窓会の皆様にご厚意を心に留めて日々精進して参ります。改めて、琉球大学同窓会の皆様にご厚意を心に留めて日々精進して参ります。

「芭蕉(ばしょう)奨学金」を受けて



理学部 3年次
森下 海都

こんにちは、物質地球科学科物理系3年次の森下海都です。この度は琉球大学同窓会芭蕉奨学金を給付してくださりありがとうございます。この奨学金は当面の食費等の生活費に当てさせていただいています。奨学金授与の際には同窓会の方々の熱い思いをいただきこれからの勉学に対してより一層の激励をもらった気持ちです。

私は大学院に進学し、将来は研究者になりたいと考えています。現在は自分に必要だと思う学問については物理の分

野に限らず数学や、文学、英語など積極的に勉強しています。アルバイトの時間が減ったことで今まで以上にじっくり時間をかけて勉強ができていると実感しています。

また、そのためにこれまで見過ごしていた小さな疑問に対しても調べる余裕ができ、以前にもまして勉強が楽しいという気持ちが大くなりました。どの分野の勉強も自分では思いつかないような解釈や表現に溢れていて、それらにあたるたびに刺激をもらっています。

今後もそうした楽しむ気持ちを忘れずに着実に勉強を重ねていきたいです。



医学部 5年次
外間 正也

このたびは琉球大学同窓会奨学金に採用いただき、誠にありがとうございます。医学部5年次の外間正也です。この奨学金

は、今年予定しているシンガポールでの海外大学短期研修の費用として大切にに使わせていただきます。シンガポール滞在中には、現地で盛んな医療ツーリズムについて学び、日本、特に沖縄にその知見を還元することを目指しています。沖縄において医療ツーリズムの発展をリードし、地域医療

や観光産業に貢献できる医師になりたいと考えています。

また、将来的に奨学金の給付を希望する学生へのアドバイスとしては、「情報は自分で積極的に探すこと」が重要だと感じます。奨学金についての情報は、学業や進路に関連することもあり、あまり学生間で共有されない傾向があるように感じるため、自らアンテナを張り、積極的に探し続けることが大切です。

この奨学金を活用してさらなる成長を目指し、皆様のご期待に応えるべく努力してまいります。



工学部 4年次
又吉 陽幹 (はるき)

この度は、琉球大学同窓会奨学金に採用いただき、誠にありがとうございます。

今回頂いた奨学金は、学習費用として大切に活用していきます。

私は、将来、建築家として、沖縄の豊かで美しい自然や独特な文化を尊重し、人々が自然と共生しながらより良い環境で生きていく未来を築いていくことを目指しています。そのためには、多くの費用や時間が必要でしたが、奨学金を頂いたことで、経済的な負担が減り、アルバイトに捉われることなく、

勉強や技術の向上に専念することができるようになりました。

奨学金給付を希望する学生は、躊躇せずに行動することを心がけるといいかもしれません。奨学金関連の情報を調べ、気になったものは、ためらわず、挑戦してみるといいと思います。その際に、自分を見つめ直すことで、夢や目標も再確認できると思います。

今回、奨学生に選んでいただいたことで、私は多くの方々に支えてもらっているということを改めて実感しました。お世話になっている方々への感謝の気持ちを忘れず、これからも努力し続けます。最後に改めて、琉球大学同窓会の皆様にご心より感謝申し上げます。

● 教員候補者選考試験対策講座

同窓会では、在校生および卒業生の就職支援事業として、沖縄県教員候補者選考試験対策講座を2024年3月6日から8月21日まで計22回開催しました。

講座は、経験豊富な講師9名が担当し、過去の試験内容に基づき1次試験対策、2次試験対策、模擬授業や面接指導を行いました。

受講者は76名(うち卒業生12名、うち2次試験対策講座受講者38名)、最終合格者は26名(同窓会把握分)でした。

次回講座は2025年4月2日開講予定で、在校生および卒業生皆さまの受講を歓迎します。

なお、受講料や資料代は無料で、講座日程は事前に同窓会ホームページに掲載します。

[対策講座問い合わせ先]

琉球大学同窓会事務局 ☎098-895-8039

Email: dousou06@jim.u-ryukyu.ac.jp



開講式



模擬授業



面接指導



教育学部
学校教育教員養成課程
4年次

山田 祐輔

合格通知を受け取る時の気分はどのようなものだと思いますか？ 4月から教員として働くことは想像できますか。この合格体験記を読んで、少しでも皆さんの教員採用試験に対するイメージが付けば幸いです。

私は、1次試験に関しては学校推薦を利用することができました。推薦を利用すると、(受験に)必要な教科が少なくなり、小学校全科だけで1次試験の合否が分かれます。1次試験の勉強について、多くの方が合格に必要な勉強時間を調べたり、周りの人の様子をうかがったりしながら、不安と闘うと思います。私は周りより少し早く、受験の3カ月前から本格的に勉強を始めました。1日3時間ですが、それを休みなく、毎日繰り返します。試験の1週間前になってもペースを崩さず、1日3時間を繰り返しました。暗記が主になるので、勉

強時間は少なくとも忘れる時間を作らないことが大切です。学習指導要領をどれだけ読み込むかが、1次試験の合格につながると思います。それぞれのスタイルがあると思うので、早めに勉強を始めて、学習ペースをつかんでください。

2次試験は模擬授業と面接でした。模擬授業は受験の2週間前に思い描いていた授業を形にしました。同窓会の先生方をはじめ、大学教授や附属小の先生など多くの先生方に見ていただいて、少しずつ軌道を修正しました。模擬授業には正解がありません。友達の授業を見て尻込みしたり、先生のアドバイスが自分にとってはしっくりこなかったりすることもあると思います。最後は自分を信じて、自分が教壇に立ったらどのような授業をするのかを自信をもって伝えてください。面接官も人間ですので、ミスは気にせず、自分ができることをきっちりこなすことが合格の近道だと思います。

教員という特殊な職業の専門性から、出願者が年々減っていく中で、皆さんがどうしても教員になりたい理由は何ですか。教育の道を志す皆さんと、近い将来、現場で巡り合うことができる日を楽しみにしています。教員採用試験、頑張ってください。

「沖縄型循環社会」をめざして



取締役会長 赤嶺 和雄

代表取締役社長 赤嶺 太介

同窓会活動

岸本正之氏顕彰碑セレモニー

当会名誉顧問岸本正之氏は2023年3月、居住先の米国ロサンゼルスでご逝去されました。

同窓会では、同氏を偲び同氏の功績を讃えるため、2024年5月27日、大学構内「首里の杜」に建立された岸本正之氏顕彰碑前でセレモニーを開催しました。

セレモニーでは、幸喜徳子会長が正之氏や多摩子夫人との出会いを語り、渡久山秀治副会長が正之氏の経歴や数々の功績を紹介しました。また、安室道代基金室室長代理から岸本遺贈基金で海外留学の支援を受けた学生が延べ62名になっていることが報告されました。

最後に当真邦子副会長が正之氏の功績を忘れずに顕彰碑セレモニーを続けることの意義を語りました。

当日は、梅雨と台風接近で天候が心配されましたが、雨も降らず穏やかな日差しのもとにセレモニーは終了しました。



【岸本正之氏顕彰碑セレモニー】

岸本正之氏は1957年英文科卒、米国在住の実業家で、2016年琉球大学に学生の海外留学を支援するため「岸本遺贈基金」を設立（総額7億円）した。なお、岸本氏の遺志で支援事業は現在も継続中。

同窓会では、岸本氏の功績を讃え2015年に同氏の顕彰碑を建立し、毎年、顕彰碑セレモニーを開催している。

2024年9月上旬、幸喜徳子同窓会会長は、同窓会を代表して西田睦学長らと共に米国ロサンゼルス郊外にある岸本正之氏が眠る墓地を訪れお参りしました。



岸本正之氏墓標前



故岸本正之氏宅
正面右側から同窓会長、岸本多摩子氏（故正之氏夫人）、ジェイソン山本氏（岸本家代理人）

留学生と地域を結ぶ温かい交流

～留学生ホームビジット開催～

留学生に沖縄の歴史・文化や生活習慣に親しみを持ってもらうことを目的に、ホストファミリーのご協力のもと、2024年11月16日(土)、23日(土)、24日(日)の3日間にわたり「留学生ホームビジット」を開催しました。

今回3回目の開催で、11カ国18名(男性8名、女性10名)の留学生とホストファミリー9名が参加し、ホストファミリーの案内で県立博物館や識名園、玉泉洞、水族館等を回ったり、ホストファミリーの自宅で家庭料理を食べたり、一緒に料理(沖縄そば、ムーチャー、サーターアンダギー等)を作ったりして夕方までの時間を楽しく交流しました。

留学生からは「沖縄の家庭は初めてで料理もおいしかった」「沖縄の歴史や文化を体験学習できて良かった」との感想が多かったほか、ホストファミリーからは「宗教上の理由で豚肉は食べないとのことと手巻き寿司やジーマーミ豆腐を用意したが、おいしそうに食べてくれてホッとした」「見知らぬ国の話を聞けて良かった」「もてなすためには、留学生の希望や関心事など事前情報がほしい」等の感想がありました。

2025年度の留学生ホームビジットについては同窓会ホームページで案内します。
ホストファミリーの応募をお待ちしています。



2024年11月16日(土) 開始式集合写真



パパイヤシリシー等の家庭料理でもてなし 手前左が台湾留学生、右はパキスタン留学生



中国とポーランドの留学生との記念写真(玉泉洞)



豚肉はダメですが、海鮮・刺身OKです
左からトーゴ(西アフリカ)とパキスタンの留学生



左からホストファミリー家族と留学生(台湾、韓国)



留学生(左インドネシア、右マレーシア)2人とも海洋関係の研究をしており、沖縄の魚に興味津々(DMMかりゆし水族館)



左から中国留学生、タイ留学生、ホストファミリー(識名園)



ホストファミリーの指導で沖縄そば作り
左は韓国留学生、中央がブラジル留学生



カーサムーチャー作り 初めてでも上手にできました



ホストファミリー宅で昼食を楽しむ
中国留学生(右)、ロシア留学生

支部活動報告

支部長・事務局長連絡先

支部	名称	氏名	電話番号	住所・Eメールアドレス
関東	支部長	名嘉盛光	03-6226-2200 (中島信一郎法律事務所)	〒104-0061 東京都中央区銀座 4-9-6 陽光銀座三原橋ビル6F (中島信一郎法律事務所内) takayama2002atsuko@yahoo.co.jp
	事務局長	金城利光	080-5020-4369	ryudai.kanto@gmail.com
関西	支部長	裁 亀吉	080-5317-2830	〒639-2131 奈良県葛城市林堂 344-4
	事務局長	山下和寿	090-3714-5161	〒544-0011 大阪市生野区田島 1-14-9
九州・山口	支部長	松下博文	092-925-9160	matusita@chikushi-u.ac.jp
	事務局長	四郎丸 治	090-1346-4682	〒820-0064 福岡県飯塚市津島 405-2 ピアンカ 2-102 号 shirou@ka2.so-net.ne.jp
奄美	支部長	奥田敏文	090-9590-8602	〒894-0047 鹿児島県奄美市名瀬大字知名瀬 2504 愛の浜園 too@po.synapse.ne.jp
	事務局長	藤本 修	090-4349-3316	〒894-0025 鹿児島県奄美市名瀬幸町 25-8 奄美市役所農林水産課内 off@bronze.ocn.ne.jp
久米島	支部長	儀間周倫	098-985-8956	〒901-3105 久米島町字宇根 54
	事務局長	平田光一	090-9782-5663	〒901-3115 久米島町字儀間 494
宮古	支部長	根間俊明	090-2464-6022	〒906-0011 宮古島市平良字東仲根添 909-5 nema@themis-ocn.ne.jp
	事務局長	平良雅則	0980-72-9860	〒906-0012 宮古島市平良字西里 675-3 qqh47349k@rondo.ocn.ne.jp
八重山	支部長	宮良永秀	090-6865-5536	〒907-0243 石垣市字宮良 232-10 myarinda4617@yahoo.co.jp
	事務局長	入嵩西 義晴	090-4580-0376	〒907-0013 石垣市浜崎町 2-5-2 シーパル 黄花 102 号 125iyoshi@kvp.biglobe.ne.jp

関東支部

支部長 名嘉盛光



関東支部は、2024年10月19日(土)、日本橋の日本教育会館にて恒例の総会・懇親会を開催致しました。ご多忙の中、西田睦学長・本部同窓会の幸喜徳子会長・上原修副会長にご臨席を賜りました。会員の参加はコロナ禍以前の人数には及びませんが、それでも約40人の同窓の方々にご参集いただきました。

今年の支部総会においては、高山厚子前支部長から名嘉盛光新支部長への支部長交代が行われました。

高山前支部長は12年の長きにわたり関東支部を先導し支部に隆盛をもたらしてくれました。沖縄県修学旅行アドバイザーとして、また沖縄料理研究家として多忙を極める中、関東支部の活動にも注力して下さいました。「10月の第三土曜

日は関東支部の日」というスローガンを掲げそれを定着させたことも大きな功績の一つです。これまでの尽力に衷心より感謝の意を表したいと思います。今後は「名誉顧問」として関東支部の活動をご指導いただきます。私たちは、高山前支部長の灯した火を消すことなく、名嘉新支部長の下で関東支部を益々発展させていく所存です。

高山支部長、本当にありがとうございました。

(文責:関東支部事務局長 金城利光)

関西支部

支部長 裁 亀吉

関西支部は、2024年7月27日(土)、大正駅近くの沖縄料理の店「おもろ」で総会・懇親会を開催しました。参加者は会員20名のほか、大学から西田睦学長、本部同窓会から幸喜

徳子会長と喜屋武正志事務局長がご臨席され、懇親会では各会員の近況報告を聞きながら懇親を深め、にぎやかな会になりました。



九州・山口支部

支部長 松下博文

2024年度(第20回)支部定期総会・懇親会は、11月2日(土)、同窓会本部から幸喜徳子会長、嶺井圭子副会長、大学から福治友英副学長、奄美支部から奥田敏文支部長、藤本修事務局長のご臨席を賜り、昨年同様、福岡西中洲の「水炊き芝」で開催しました。

総会では24年度の活動報告および決算報告、25年度の予算案・活動案が上間副支部長より示されました。またコロナで延び延びになっていた鹿児島市内での奄美支部との両支部合同懇親会の開催について、ご出席の奥田支部長・藤本事務局長とご相談し、2025年度の実現に向け準備を進めていくことになりました。時期は未定ですが決まり次第ご案内いたします。恒例のミニ講義は、71年創刊の郷土誌「青い海」をもとに「雑誌『青い海』とその時代」と題して戦後沖縄のイメージ変容について松下が担当しました。

懇親会では出席者ひとり一人の近況報告に始まり、恒例の「琉球大学逍遙歌」「雲よ湧け 千原の空」でお開きになりました。手土産に昨年好評だった「サーターアンダギー」と「伊江島名産

黒糖ピーナッツ(山城製菓)」をお持ち帰りいただきました。今年度は3連休の連休初日の開催ということもあって参加者は20名程度になりました。開催時期については今後いろいろ検討したいと思っています。次年度はより多くの方々にお会いできますことを楽しみにしております。皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げご報告いたします。



奄美支部

支部長 奥田敏文

奄美支部では、2024年8月9日に奄美市において支部総会を開催しました。

当日は、会員20名の参加があり、同窓会本部からは幸喜徳子会長、渡久山秀治副会長にもお越しいただき、活動報告、決算、予算などを承認いただきました。

また、鹿児島県立大島病院の医師である大木浩会員から「ブラッドローテーション＝離島における輸血の重要性や問題点」などについて、詳細に解説していただき、群島民全体の命にもかかわる医療の課題について、情報共有を行いました。

懇親会では、会員の向美芳さんが奄美市教育長に就任したことをお祝いするなど、終始和やかな雰囲気でお話することができました。

コロナ禍前から提案されていた九州山口支部との交流については、福岡市で開催された同支部総会に、奄美支部から

支部長および事務局長の2名で参加しました。来年度以降も、九州山口支部との交流を、さらに発展継続させていきたいと考えております。



久米島支部

支部長 儀間周倫

2023年12月に琉大附属図書館主催による琉大OB・OG座談会が久米島博物館で開催され、支部会員が参加しました。座談会では学生生活の話で盛り上がり、また琉大を卒業したから今の自分たちがあることを再認識する機会になりました。

2024年の2月と3月に久米島高校生4名の琉大合格激励会開催、7月に美崎小学校で琉大准教授中村春菜氏による出前授業が行われ、久米島、特に美崎地区には琉球王国時代の中国との交流(歴史、文化、偉業等)が多くあったことを学びました。

11月に2024年度支部総会が開催され、幸喜徳子同窓会長、神村洋子副会長より激励のあいさつ、70周年記念事業の取り組み状況の報告がありました。懇親会で会員のかぎやで風、小中学生

(姉妹)のフラダンスで会が盛り上がり、今後も子どもたちを激励し大学進学等の向学心を高める活動を確認し合いました。



宮古支部

支部長 根間俊明

宮古支部は、会員相互の親睦、琉球大学との連携、地域のこども教室を主体に活動しています。この1年の活動を報告いたします。

2024年11月9日第1回役員会を開催し、24年度支部定期総会開催と評議員会開催、会員親睦グラウンドゴルフ大会開催について協議しました。総会については支部規約ののっとり、書面議決書により実施することに決定しました。その後11月19日に第1回評議員会を開催し、定期総会提出議案、会員親睦グラウンドゴルフ大会、地域こども教室「昔こども遊びについて」の開催について協議しました。

定期総会は12月2日(月)書面議決書により実施され、第1号議案2023年度活動報告並びに収支決算について、第2号議案2024年度事業計画並びに収支予算(案)について承認されました。

総会翌日の12月3日(火)には下地小学校3年生44人を対象にした地域こども教室「昔こども遊び」を開催し、「アダン葉による風グルマ作り」「すすきの葉(ツカニ)による綱作り」「藁算作り」が行われました。藁算について、事務局の長濱幸男さんが昔、紙や鉛筆が無い時代は、藁算で、馬、豚、牛の家畜の頭数を記

録し、家族の人数を役所に届け、御嶽に奉納していたと、下地来間島で作られていた藁算を示し説明しました。児童を代表して与儀流花さん、上地美桜さんが「昔の遊びに興味を持ちました。ほかの昔遊びも教えてください」とお礼の言葉を述べ、根間支部長は「今日習った昔遊びを祖父母に話してほしい」と最後を締めくくりました。

12月14日(土)には親睦グラウンドゴルフ大会が開催され、約20人の会員の参加で盛り上がりました。



◇2024年3月15日(金)琉球大学合格者激励会

(会場: 県立八重山高校)

県立八重山高等学校、県立八重山農林高等学校から琉球大学へ合格した10名へ、宮良永秀支部長が、「出会いを大切に、大学生活を充実させてほしい。」と、激励の言葉が贈られ、お祝い金が渡されました。

正志事務局長ご臨席のもと盛大に開催され、幸喜徳子会長から来賓祝辞を頂き、会員の皆さんも久しぶりの集いを喜び、楽しそうに懇談されていました。



◇7月14日(日)親睦グラウンドゴルフ大会・2024年度定期総会・懇親会

「石垣スポーツパークむりかぶし」にて親睦グラウンドゴルフ大会を開催しました。当日は、暑い日差しの中ではありませんでしたが、好プレー続出の大会となりました。

2024年度定期総会・懇親会は、「ホテルミヤヒラ」で行われ、定期総会において、提案された全議案が原案通り承認され、令和6年度の活動がスタートしました。懇親会では、同窓会本部から幸喜徳子会長、喜屋武

琉球大学医学部および病院の移転

医学部及び病院が、現在の西原町上原から宜野湾市普天間に移転が完了し、2025年1月6日に、新たなキャンパス及び病院で教育・研究・診療が再開されました。

新キャンパス及び病院は、国道58号線沿いの風光明媚な小高い場所に建てられ、地上14階建ての病院棟をはじめ、医学部研究棟、講義実習棟、先端医学研究棟などが威風堂々とそびえています。医学部の主要4棟(研究棟、講義実習棟、動物実験施設、先端医学研究センター)の総延べ床面積51060㎡で病院棟は延べ床面積約69700㎡、病床数620床(高度救命救急センター新設による20床増床)診療科数17診療科で再スタートしました。

今回の移転構想の起点は、キャンプ瑞慶覧西普天間住宅跡地への琉球大学医学部及び病院の移設を含めた「国際医療拠点形成」を推進することとされ、国の重要施策として位置づけられ、「国際性・離島の特性を踏まえた沖縄健康医療拠点」として、沖縄の医療の国際性、広域・多数の島からなる沖縄の医療の中核となるような医療拠点を目指して整備されています。

新しい医学部及び病院において、教育・研究・診療体制の機能強化・充実が図られており、県民のみならず、国内・国外からもその期待は高まっています。



新医学部及び新病院における教育研究及び病院医療提供体制の充実

- (教育研究) 先端医学研究センター バイオバンク分野
再生医療分野 感染症分野 メディカル DX・
医工連携分野 国際化 国際医療水準の教育・
研究医療の実現
- (医療提供体制) 高度救命救急センター新設 再生医療の実施
ニューロリハビリ技術 先端リハビリ
ハイブリッド手術 ロボット手術 バイオクリーン
手術 生体肝移植などの移植医療の充実
各種インターベーションの実施 災害対応の拡充
がんセンター機能充実 医師育成・確保・派遣機能の充実



(写真提供: 琉球大学)



夢とくらしと文化をはこぶ

 **琉球海運株式会社**

代表取締役会長 宮城 茂

代表取締役社長 比嘉 茂

沖縄県那覇市西1丁目24番地11号 TEL: 098-868-8161

<http://www.rkkline.co.jp/>



活躍する同窓生

interview

インタビュー

沖縄県農業協同組合 理事長

前田 典男 氏 (66)

1982年卒 30期 法文学部法政学科 法律専攻

そのほかに自動車道の整備事業で測量の助手をやったこともあり、そのときは道なき道で奮闘した覚えがあります。トイレの器具の取り付けや百科事典の販売などたくさんバイトをやりましたので、大学にはあまり行っていなかったですね(笑)。アルバイトをして稼いだお金で授業料も大分払いましたよ。

■大学卒業後はどのような進路を

1982年、卒業と同時に沖縄県信用農業協同組合連合会(金融機関)に就職しました。最初は銀行に入ったような感覚でした。私の父は農林高校の出ですが、「農は国の基なり」とよく言っていたことも農業関連組織を選んだ理由の一つです。

県信連では融資業務や有価証券運用、事業計画策定などを担当しました。2002年には農協合併があり、県下27農協が一つになりました。05年には連合会が統合され、県単一のJAになりました。その後私は総合企画部に異動し、管理業務を担っていました。そのときに統合事業はほんとうに大変だと思いましたね。牛豚からサトウキビ、マンゴー、花卉、ガス、ガソリン、スーパー、さらに銀行(信用)業務、保険(共済)業務まで非常に広範囲で、頭の切り替えが大変でした。何でもやっているという強みはありましたが、かつて信連にいたことが役に立ったと思っています。

■琉大の後輩たちに何かアドバイス

大学でいろんな知識を身に付け、アルバイトもたくさんやって社会を知ってほしいですね。いろんな学部の学生とユンタク(おしゃべり)をして、お酒も飲んでコミュニケーションをはかってほしいですね。何にでも興味を持ち、たくさんの人と話をすることが大切だと思います。

私は特に座右の銘はありませんが、一つ挙げれば幕末の志士吉田松陰の「至誠にして動かざる者は未だこれ有らざるなり」です。職員にもよく言っています。「誠心誠意話をなさい。何事も一生懸命やれば物事は動くよ」ですね。

■読書がお好きなようですが、現在どれだけ読んでいますか

年間60冊から100冊は読んでいます。何でも読みますが、小説やハウツー物が比較的多いですね。何かのタイミングで目に止まった本は手にするようにしています。最近は電子書籍で読むことが多くなっていますね。

琉球大学を卒業した後、各方面でご活躍中の同窓生を紹介いたします。今回は沖縄県農業協同組合の前田典男理事長、コザ信用金庫の金城馨会長に学生時代の思い出や卒業後のお仕事などについてお聞きしました。(編集委員長・上原 修)

コザ信用金庫 会長

金城 馨 氏 (72)

1978年卒 26期 理工学部電気工学科

■琉球大学への入学の動機を教えてください

私が大学を目指した当時は、本土の大学に入学できる国費・自費制度の終盤でした。1年浪人してチャレンジしましたが、合格できませんでした。志望学科を変更して選んだのが琉大の電気工学科です。元々音響の分野が好きだったので決めました。アンプを作ったり、好きなスピーカーで音楽を聴いたりしていました。

■学業について

私は手が細かい方でして、物を作ることに興味があったんですが、大学の講義は数式や理論ばかりで、ほんとうに嫌になりました。音響関係は弱電の分野ですが、当時の琉大の電気工学科は強電が主体でした。私としては「弱電をやりたい」との思いが強かったので、勉強に身が入りませんでした。1年間は真面目に通学しましたが、そのあとはゆるりと大学に通っていました。

当時私はコザ市に住んでいて、バス通学をしていました。首里までの通学時間が長く、正直つらいものがありました。山川や桃原などのバス停を降りてキャンパスまで、長い上り坂を通うわけですが、学生たちは、そこを「単位坂」と呼んでいました。この坂を上ってキャンパスにたどり着けば単位が取れると学生の間で言われていました。

大学での理論の勉強は面白くなかったと先ほど話しましたが、5センチもある分厚い英語の原書を読まされたことが就職後に非常に役に立ちました。当時はコンピューターが一般的に出始めて、それほど期間はたっていなかったと思います。琉大にもコンピューターがあり、学生がプログラミングの技法などを学ぶ機会がありました。

■サークル活動について

私は浪人時代から健康管理のためソフトボールを始めました。1974年に琉大にソフトボール同好会が発足していたので、入会して一緒にサークル活動を楽しみました。当時は学生、社会人のチームが少なく、高校の女子チームと練習試合をすることがありました。その後、同好会は、琉大ライナーズに名称を変えて本格的なチームに成長してきました。また、那覇地区の大会を創設してソフトボールの普及に努めました。去年は琉大ライナーズの創部50周年でしたが、1979年には後輩たちが全日本大学選手権大会で優勝しています。



■当時の就職を取り巻く環境や大学卒業後の進路について

大学卒業までに少しずつ単位を取っていきましたが、オイルショックや沖縄国際海洋博覧会後の経済不況などで、電気工学科関係の仕事が少なくなっていました。私たちにとって就職環境が超氷河期の時期となりました。新卒と既卒では採用に違いがあったので、私は大学に残ることにし、卒業までに6年程度もかかりました。

就職については、コザ信用金庫創業者の西田文光理事長に声をかけられたのが入庫のきっかけです。西田理事長はシマ(伊是名村)の大先輩です。私は電気工学科専攻ですから「本来、金融機関には向いていないんじゃないですか」とお応えした記憶があります。

そのあと、縁があって1978年に入庫し、最初から電算部門に配属されました。3年後に東京共同事務センターへのオンライン移行が決まっており、「プログラムを開発せよ」という指示・命令を受けました。大学で学んだプログラミングが生きたわけです。当時の電算部門のコンピューターは米国製を利用しており、日本語のマニュアルでは理解できないことが多く、英語のマニュアルを読んで理解することができました。これも、学生時代に分厚い英語の原書を読まされたことが役に立ちました。

プログラムを作っているうちに16年がたち、システム移行が一段落したときに支店長職を拝命し、9年間で3店舗を経験しました。2002年には本部の部長職、役員就任、2019年に理事長職を拝命、現在は会長職をさせてもらっていますが、これも職員の方々の支えのおかげであり、ほんとうに感謝の気持ちでいっぱいです。

■琉大の後輩たちに何かアドバイスを

考えてみてできなかったらすぐ諦めるという人が多いと思います。考えて、考えて、考え抜くと道は開かれると私は思っています。16年間電算業務に就いていたときのことですが、あるロジックがどうしても作れない。諦めかけていたら、ある日夢の中でそのロジックが出てきました。そのようなことから、中途半端に考えるのではなく、ほんとうに必死になって考えると道は開けると思うようになりました。会社などの人事配置でよく「適材・適所」という言葉が使われますが、私は「適所・適材」という言葉を使って、次のように意味を説明しています。

「自分自身の将来を見据えながら、異動先(適所)で適材になれるように一生懸命に自己研鑽に励んでほしい」と。

母校情報

サークル活動報告

琉大ライナース結成 50 周年記念祝賀会と交流試合 琉球大学ソフトボール部

1974年に創部されたソフトボールの琉球大学ライナースは、2024年11月29日、30日に結成50周年記念祝賀会と交流試合を開催しました。那覇市のホテルコレクティブで29日夜開かれた祝賀会には県外組約30人を含めOB、現役合わせて約100人が参加しました。祝賀会は10年ごとに催しており、同日は年代別にメンバー紹介が行われ、記念撮影や昔の思い出話などで大いに楽しみました。部の資金造成のためTシャツ販売もあり、OBが購入していました。

30日は琉大グラウンドで交流試合があり、10代から70代までのメンバーが3チームに分かれて対戦、好プレー、珍プレーで盛り上がりました。1973年入学の最年長、浦崎猛さん(72)は、「以前は廃部の心配もあったが、現在は60人いる。今回は現役がOBを一生懸命接待していた」と話し、喜んでいました。

ライナースは1979年、大学日本一に輝いており、優勝メンバーの濱田英稔さん(69)

=76年入学、教育学部=、加治屋峰也さん(67)=76年入学、同=らも交流試合に参加していました。当時は他大学から全くマークされることなく大会に臨んでいたとのことでチームは波に乗って勝ち上がり、決勝では濱田さんの同点打、加治屋さんの逆転打で東海大学を2-1で下し、頂点に立ちました。

現役を引退した大学4年の渡慶次憲志郎さん(22)は「ここまでOBとつながりがあることに驚きました。九州大会などがある際に応援していただけるとありがたいです」とOBに感謝していました。



琉球大学管弦楽団

琉球大学管弦楽団団長 玉城 光里

私たちは沖縄唯一の学生オーケストラ、琉球大学管弦楽団です。

当楽団は1974年にバロック合奏団として創立され、2024に創立50周年を迎えました。一時はコロナ禍で大幅に活動を縮小し、定期演奏会の開催を断念しなければならぬ期間もありました。しかし、現在は団員も60名を超える大所帯にまで持ち直し、年に1回開催する定期演奏会に向けて、日々練習に励んでいます。

昨年12月に行われた第65回定期演奏会では、沖縄県立芸術大学の林裕先生をお招きし、ベートーヴェン作曲「序曲『コリオラン』」、ドヴォルザーク作曲「チェロ協奏曲 口短調」、「交響曲第9番『新世界より』」を演奏いたしました。定期演奏会以外にも、琉大祭やショッピングセンターでのゲリラコンサート、近隣保育園の訪問演奏と



いった形で、地域の皆さまに音楽をお届けしております。

これら活動を続けていく中では、経済的に大きな困難も抱えております。

団では、多くの学生が気軽に音楽を楽しむことができるよう、楽器を貸し出しており、楽器の維持には多額の費用が必要です。

また、練習会場の確保にも費用が掛かり、団の会費で賄うには厳しいものがあります。

そのような課題はありますが、皆さまの生活を豊かにする音楽をお届けするため、団員一同、日々練習に励んでいます。どうぞ皆さまのご支援をお願いいたします。

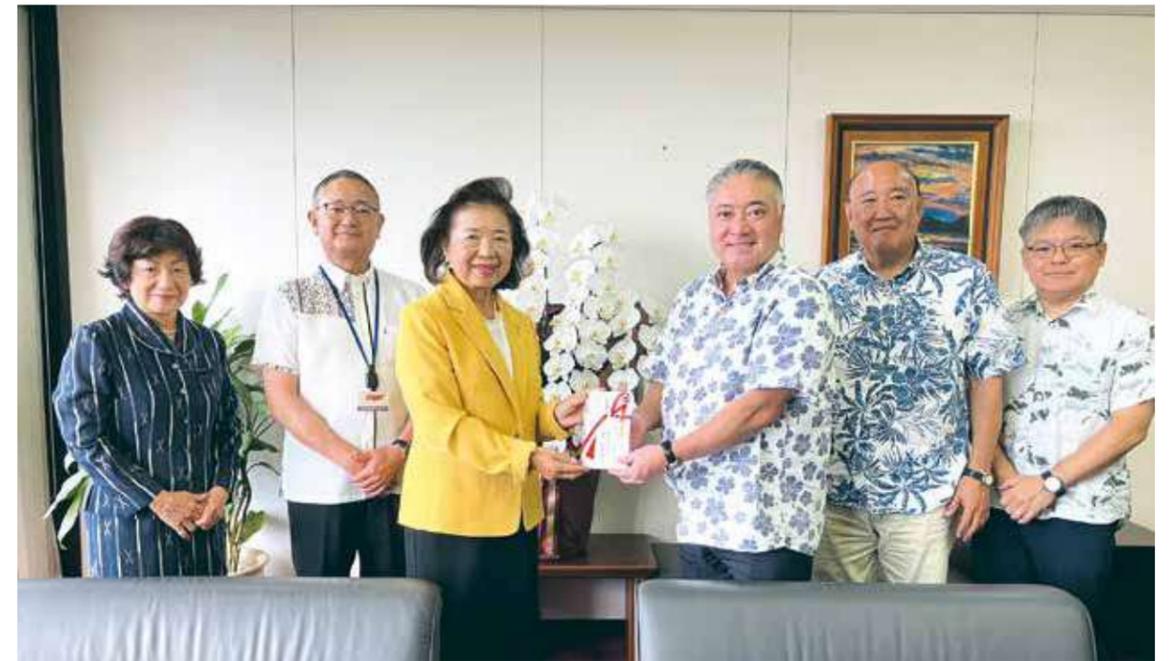
社会貢献活動

琉球放送「応援！ 18の旅立ち」への支援

同窓会では、18歳で児童養護施設や里親家庭から自立する若者を支援する琉球放送の「応援！ 18の旅立ち」チャリティー活動に賛同し、2021年から支援を続けています。

今回は、2024年10月7日、幸喜徳子会長、渡久山秀治副会長、神村洋子副会長3名が琉球放送を訪れて中村一彦社長に支援金30万円を贈呈しました。

贈呈の様子は同夕の琉球放送の報道番組で放送され、幸喜会長はインタビューの中で「これから子どもたちが厳しい環境の中で生活しないといけないと思うと微力ですが、応援してあげたい気持ちになりました。将来沖縄の人材となり頑張っていただけるとありがたい」と自立する若者にエールを送りました。



右から琉球放送(株)登川隆ラジオ局局長代理、安仁屋聡常務、中村一彦社長

おきなわフィナンシャルグループ

沖縄銀行

第50回沖縄寮歌・大学の歌祭り

第50回沖縄寮歌・大学の歌祭り(主催・沖縄寮歌振興会)が2025年2月24日(月)、沖縄県総合福祉センターゆいホールで開催されました。国立、私立合わせて29大学の卒業生約250人が参加、舞台上で各大学の歌を披露し合い、盛り上がりました。琉球大学同窓会は「琉大逍遙歌」「琉球大学の歌 雲よ湧け、千原の空」を高らかに歌い上げ、盛んな拍手を受けました。

1972年に第1回の歌祭りが開かれ、当時は11大学でしたが、年々参加校が増えていきました。振興会の比嘉朝文会長(明治大学OB)は「実質半世紀となりましたが、多くの先輩方の並々ならぬ努力で本日50回目を迎えました。きょうは青年の気概で歌い、みんなで力を合わせて盛り上げていきましょう」と節目の年の主催者あいさつを行いました。

した。

舞台は沖縄国際大学芸術文学研究会のメンバーによる「かぎやで風」で幕が開けたあと、寮歌の部(主に旧制高校の歌)と大学の校歌・応援歌の部で行われました。舞台では学ラン姿や羽織袴姿、野球の応援ユニホームで登場する大学があるなど、個性あふれるステージとなり、指笛などで喝采を浴びていました。12番目に登場した琉大同窓会は喜屋武正志事務局長が口上を述べたあと、11人がはっぴ姿で自慢の曲を歌い、会場を盛り上げました。参加者は大学の枠を超えて和やかに交流を深めました。比嘉正幸振興会副会長(琉大OB)が閉会あいさつを行い、5時間余にわたったイベントが終了しました。



【短歌】

結草の一面白き花の中子らかけゆきて野の人となる

(初等教育科 13期 仲田啓子)

【俳句】

七万本杭打つ海や島灼くる

(初等教育科 11期 伊佐節子)

【琉歌】

勢ひ朝太陽の 光さし受けて
いぢいあさていだぬ ひいかりさしうきて

まなびや ぬさかい ながいくみてい
琉球大学の栄え 願ひ込めて

歌意 西原の高台に誇り立つ琉球大学が、東の空に勢いよく上る黄金色に輝く太陽の光を受けて一層の発展を願う思いを詠む

ていにていといくる むすいぶとうむが ちぬ
手に手取り心 結ぶ琉大同窓会の

こきぬとしんけーい いわううれしや
古希の年迎へて 祝ふ嬉しや

歌意 琉球大学を卒業した仲間が手に手を取り合って、絆を結んで継承、発展してきた同窓会が創立七十周年の古希を迎えて祝う喜びを詠む

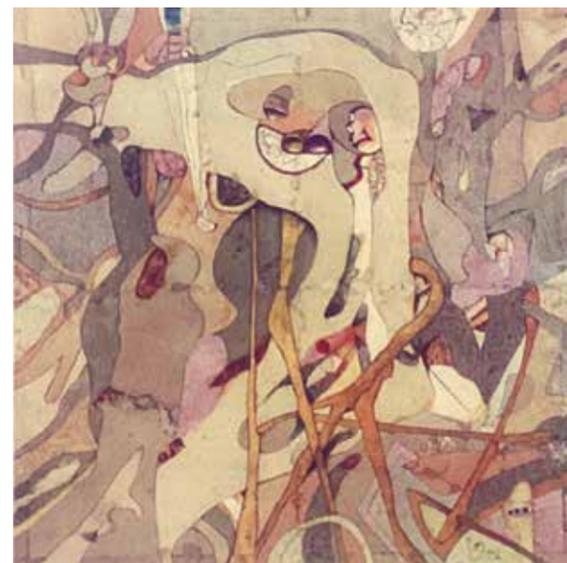
(教育学科 14期 前原武光)

【書道】



書：「花いばら」うれいつつ おかにのほれば
はないばら 与謝蕪村
人間科学科 2019年卒 徳村 利月

【絵画】



絵画：「ひんぷん」
第66回 沖展・絵画・準会員賞
美術工芸科 17期 宮里 昌信

ご寄付を頂いた個人・企業等

期間：2024年2月～2024年12月まで

寄付総額 14,824,805 円

同窓会創立70周年募金へのご寄付を賜り誠にありがとうございます。
学生及び母校支援に活用いたします。

〔個人〕 319名 寄付合計 4,852,970 円 (敬称省略)

宮良マサ	桃原 次男	仲西 昌秀	友寄 隆房	安里 久子	仲松 健
西田 睦	加シマフ	宮城野々香	金城 正秀	上地 学	平良 泰一
岸本多摩子	カシムン仔	伊禮 温子	荒木 秀夫	伊添 千寿	大城 稔
上原 正信	佐久川政喜	奥間 海	横田 清	吉村 英俊	比嘉 洋子
古我知 篤	川満 正彦	村山 博子	長嶺 義宏	安里 直子	比嘉 保
匿名希望	上間 優	比嘉 彬	シトウヤオ	カワシムン仔	玉城きみ子
福治 友英	金城 博明	謝敷美代子	ホマフヒコ	讚岐 史子	來間 勝枝
仲宗根未佳	伊良波政彦	新里 登	佐賀 裕敏	松尾智香子	當眞 健一
金城 久森	喜友名 寛	匿名希望	匿名希望	仲里 利信	岸本 一夫
喜久村徳彦	石川 政信	世名城盛進	大山 隆	仲吉 良包	當山 則男
與儀 憲徳	瑞慶覧長敏	久保田忠行	古謝 源生	屋良 栄作	池田 克己
阿部 綾子	國吉 和夫	城間 貞	新垣 利雄	上原 直子	末継浩二郎
幸喜 徳子	比嘉 優	蒔田 勇治	當山 清巳	仲本 道子	山城 司
カスウツ	安仁屋升子	島袋 京子	西原 忍	嘉数 文	金城 哲浩
富原加奈子	渡久山晴和	成瀬 正治	長澤 秀剛	古堅 幹也	比嘉 義彦
赤嶺 健治	匿名希望	大城早智子	玉城 亨	香西美紀子	富山 清
平良 徳市	又吉 慶次	宮城 功	圓 和之	藤本 修	浦崎 政勝
与那嶺 薫	嶺井 圭子	多和田真吉	銘苺 康弘	仲村 昇	米須 弘
高宮城一男	高江洲真知子	喜屋武盛賢	照屋 忠敬	名渡山秋彦	中村 睦子
キムラシウ	比嘉 泰男	下地 栄	澤岷 純子	島袋 恒康	大城 進一
上里 昭夫	幸家 秀男	松田 有朝	中元 敏郎	當山 孝保	當間 義孝
新崎 初子	新城 次美	赤嶺 正廣	平安山良長	宮城 賢治	伊良皆マサ子
屋良 一	謝敷 正雄	當山 清勝	重田 辰弥	宮城 一彰	川上 正孝

砂川 幸子	宮里美智子	波照間永邦	呉屋 克宏	比嘉 眞嗣	大嶺 保和
山城 恵子	豊田 安弘	田中 豊三	名護 健一	久貝 宮一	上地 敦
瑞慶山三雄	山城 聡	下地 勝也	垣花 将司	石川 孝雄	吉野 剛
宮里 節子	林 賢正	玉城 昭子	増永 健	砂川 喜洋	カシムン仔
浜田 和弥	運天 大喜	コチマコ	林コエコ	上江洲 裕	神村 洋子
阿波根一子	松原 正太	島袋 浩行	照屋 初子	眞榮城航大	名嘉 重則
福里 重盛	新垣 高男	比嘉千都代	屋我 実	山城 貞孟	仲村 正市
宮城 修	友利 七海	仲田スミ子	小橋川勝子	湧稲国安磨	津波 淳子
儀保 博信	裁 亀吉	田中 俊文	森満 裕幸	久場 兼征	比嘉 勲
上地 和夫	新垣 善輝	匿名希望	八木美智子	與崎 彩花	山城 毅
与久田健一	伊野波盛英	マコシムネツ	伊良部 靖	長嶺 和亘	石嶺 正子
泉 祐正	親川 栄喜	譜久島哲三	吉本 靖	下郡みず恵	宮城 幸子
里 寛治	宮口 典子	伊藤 タケ	眞喜志一輝	島村 賢正	豊村 良春
平安名盛智	國吉 眞治	金城 義昭	徳村 勇人	与那嶺 薫	宮里 昌信
新垣 宏	江洲 順吉	宮城 秀敏	新城 武	上原恵美子	當眞 淳
伊佐 良盛	蔵根美智子	狩俣 昇男	新城 初子	山内 勝美	浦添喜美子
島袋 眞榮	嘉手苺弘美	玉城 俊一	喜久里千代	當間 春子	小川 太郎
小林 文男	大湾 知子	ミヤヒラトモキ	横田 哲	松根 正廣	長濱 幸男
國仲 昌夫	上地 英由	金城 信子	伊禮門清吉	我如古勝子	志良堂保夫
新垣 信雄	安里 昌利	神山 正寛	神谷 栄助	砂川 義信	高江洲博子
船附トモ工	眞島 弘子	赤嶺 和雄	津留 健二	座波 朝正	ヒラヒロアキ
垣花 義孝	松堂 勇	宮本 春義	重田 辰弥	古波津英夫	キマエコ
宮城 信夫	平良 浩章	島尻千恵子	津堅門大己	米須大一郎	圓 和之
琉大英文科8期有志	比嘉 照行	仲地 幸子	新里 彩佳	照屋 善宏	川上 博久
下里 義弘	仲間 睦	平田 光一	カネハシメ	玉那覇寿子	大城 清弘
知念 眞一	比嘉 正幸	渡久地裕子	謝敷美代子	照屋 絹代	平井りい子
新垣 正徳	仲本 朝俊	眞栄田義功	宮平 進	豊見山 正	又吉 優子
中石 直木	ツヅエナ	藤本 修	庄司 誠	西原ルミ子	金城 孝仁
渡嘉敷直勝	藪谷 冬輝	島袋 捷呼	キャントミ	比嘉 盛賢	アケノオチイヌ
知花 昌和	照屋 裕喜	林コハシメ	長谷川洋介	高山 朝光	
上地 スミエ	石川美智子	伊佐 淳	當間 清喜	荒木 秀夫	

【企業等】 87 社 寄付合計 9,971,835 円 (受付順、企業名のみ掲載)

(株)沖電工	(株)宜野湾電設	中部興産(株)会長
琉球朝日放送(株)	(株)第一医療器	中部興産(株)
(株)前田産業	琉球大学職員有志一同	エナジー沖縄(株)
那覇空港ビルディング(株)	税理士法人エヌズ	興産アメニテイ(株)
(株)ぬちまーす	医療法人卯の会新垣病院	(有)しんえい石垣
沖電グローバルシステムズ(株)	(株)ジミー	石垣生コンクリート工業(株)
(株)トリム	(株)沖縄商会	(株)福地組
(有)沖縄長生薬草本社	新栄設備工業(株)	(有)森田建設
沖縄県保健食品開発協同組合	(株)エバーグリーンモビリティ	(株)オキセイ産業
弁護士法人当山法律事務所	(株)沖縄アドサービス	(株)ソフィア通信
沖縄県農業協同組合琉大 OB 有志一同	那覇鋼材(株)	(株)アクティブ
(株)おきなわフィナンシャルグループ	社会医療法人 敬愛会	(株)ニュートラル
(株)おきなわフィナンシャルグループ琉大 OB	(株)那覇電工	(株)ジムキ文明堂
第一総業(株)	(有)アクシア技検	(株)牧港ヒューム管工業所
エアポートトレーディング(株)	(株)ふじ産業	医療法人八重瀬会同人病院
琉球大学経友会	(株)RC ワークス	上門工業(株)
(株)仲本工業	沖縄管理産業(株)	沖縄電力(株)
(株)琉球銀行	司法書士法人きゃん事務所	(有)伊世開発
(株)琉球銀行琉大 OB 有志一同	(株)設備技研	南西開発(株)
沖縄テレビ(株)琉大 OB 有志一同	第一工業(株)	石垣鋼材(株)
(株)リウボウホールディングス	沖縄道路メンテナンス(株)	(株)おきさん
(株)國場組	(株)ゼネラルエステイト	大永建設工業(株)
琉球海運(株)	平安座総合開発(株)	社会福祉法人憲章会
國和設備工業(株)	沖縄製粉(株)	(有)仲座工業所
(株)ファンスタイル	(有)金功重機	沖縄ハム総合食品(株)
(株)ゼンショウトレーディング	(株)太名嘉組	(株)上咲組
(株)ゼンショウホールディングス	全保連(株)	沖縄セルラー電話(株)
(株)コウキ	沖縄ツーリスト(株)	街クリーン建設(株)
(株)セントラルミート	マエダ電気工事(株)	(株)京和土建

学生支援事業紹介 (2025年度)

同窓会では未来へ羽ばたく学生を応援するため、次の学生支援事業を計画しています。

1 給付型奨学金 (返済義務なし)



奨学金授与式 (2024年7月25日)

経済的に困っている学生の支援事業

2025年度は予算を倍増して給付予定

(内容)

奨学金千原 60万円 10名給付

予算額 600万円

5月に募集案内予定、同窓会ホームページで確認、詳細は同窓会事務局、学生係に問い合わせてください。

2 教員採用試験対策講座 (無料)



模擬授業 (2024年8月)

2024年開催状況

期間 3/6 ~ 8/21 計 22 回開講

受講者 76 名 (うち卒業生 12 名)

うち 2 次試験講座受講者 38 名

最終合格者 (把握分) 26 名

経験豊富な講師 9 名が担当、模擬授業・面接は個別指導します。

2025 年は 4 月開講予定 講座資料は無料です。

3 海外留学支援 (新設) ※2025年度スタート

海外大学へ留学する学生を支援することを目的に、寄付金を財源とした基金制度を新設して、留学準備金や留学先滞在費を援助します。

(案) 年間予算約 700 万円、基金制度が整いしたい募集開始予定

4 課外活動奨励金

2025 年度から大学内のクラブ・サークル活動を支援するため「課外活動奨励金」を交付します。

(事業案)

年間予算 100 万円、10 団体を選考して各 10 万円を交付予定

大学に学生団体設立届を出しているクラブ・サークルが対象で、同窓会から募集要項を配付

うるま法律事務所

弁護士 仲宗根 忠真
NAKASONE TADAMASA

〒903-0815 沖縄県那覇市首里金城町 3-45
携帯 090-2850-5223 FAX (098)894-2882
E-mail ginneyusa@marble.ocn.ne.jp

琉球大学同窓会関東支部

支部長 名嘉 盛光 (2024年10月就任)
副支部長 中島信一郎
事務局長 金城 利光

〒904-0061 東京都中央区銀座 4-9-6
陽光銀座三原橋ビル 6階 (中島信一郎法律事務所内)
TEL 03-6226-2200 FAX 03-6226-2201



大城純市法律事務所

弁護士 大城 純市
弁理士 大城 純市
弁護士 大城 陽菜

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎 1丁目3番7 泉崎レジデンス 2階
TEL (098)860-8404 FAX(098)861-8369

地元と ともに

コザ信用金庫

会長 金城 馨
理事長 喜友名 勇



腎臓病、高血圧、リウマチ・膠原病・糖尿病
循環器疾患、その他内科一般、血液透析(外来)

医師 田名 毅・比嘉 啓
(琉大医学科 四期生)

第一クリニック TEL: 098-885-5000
第二クリニック TEL: 098-833-1001

ホームページ <http://www.shuri-jc.jp>

ReFriendsイメージキャラクター
ともーる



同窓会幹事代行

同窓会したいなあ... と思ったら

専用TEL 0120-953-070

(受付時間 月~金 9:30~12:00 / 13:00~17:00)

メール produce@salat.co.jp

同窓会のトータルプロデュース企業 株式会社 サラト



本社 〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172 TEL.079-284-1380
東京支社 〒110-0016 東京都台東区台東4-18-7 シモジンビル5F TEL.03-3832-6381
<https://www.refriends.net/>



30th もっとドキドキQAB
2年連続
二冠達成
個人・世帯 ゴールデンタイム プライムタイム
2024年 年間視聴率
1位獲得!!
琉球朝日放送

Beyond the Bank

あなたの明日へ



SDGs..... カーライフの
安心・安全をサポート **琉大生限定**

節約型マイカーリース (中古車) 17,000円~(税別)
(軽自動車限定: 車両&車検&修理代金込み)
格安車検・板金 (リサイクルパーツ使用) 代車あり

リースサポート琉球 (LSR)

代表 田中 俊文

那覇市金城 5-9-2-506
e-mail: taanabkac@gmail.com
連絡先: 070-5810-2665 (田中)

同窓会活動を応援します!



琉球大学OB・OG一同

〒900-8525 那覇市泉崎1-10-3
TEL.098 (865) 5111 (代)

沖縄の方言で命のことを「ぬち」
塩のことを「まーす」と言います。
生命に必要なミネラルに着目し
「命」の「塩」(ぬちまーす)と名付けました。
ぬちまーすの原材料となる海水が取水される宮城島は
沖縄本島と海中道路で結ばれ
タカハナリ(高懸)とも呼ばれる標高100m前後の高台の島です。
沖は流れが速く圧倒的な透明度を誇ります。
その宮城島の太平洋側の海水のみを原料とし
独自製法「常温瞬間空中結晶製塩法」で
海のミネラルたっぷりの塩を作りました。
輸入塩、固結防止剤等の添加物は一切使用しておりません。

ぬちまーす

沖縄県うるま市与那城宮城 2768
TEL 098-983-1111 / FAX 098-983-1112

ぬちまーす 検索 www.nuchima-su.co.jp



宮城島
miyagi island

緯度 026°21'48.00"
経度 127°58'18.00"



世界初

沖繩宮城島の海塩
ぬちまーす
沖繩の海水100%使用
まろやかな旨味をサラッ

Panasonic

パナソニックコンシューマーマーケティング沖縄(株)

〒901-2133 浦添市城間4丁目23番11号 TEL:098-877-1201

URL: <https://www.panasonic.com/jp/company/pcmo.html>



拓南製鐵株式会社

代表取締役会長 古波津 昇

代表取締役社長 八木 実



本社：沖縄市海邦町3-2-6
石灰工場：名護市字安和2656-2



あなたの暮らし丸ごと応援!

JAおきなわ



県産食肉と消費者を信頼で結ぶ
株式会社 沖縄県食肉センター



代表取締役社長 外間 勉

〒901-1203 沖縄県南城市大里大城1927
TEL: 098-945-3029 FAX: 098-945-3742



技術と創造で地域に奉仕する
沖縄電力グループ(百添会)

沖縄プラント工業(株)

代表取締役社長 久貝 博康

〒901-2131 沖縄県浦添市牧港四丁目11番3号
TEL(098)876-2535(代) FAX(098)877-9993

沖縄経済、社会課題を深掘り **沖縄タイムス** プラス
OKINAWA TIMES

沖縄タイムスがスマホで読める

スタンダードプラン

1日約90円で
コンテンツ
読み放題!

2,750円

初回申込なら
最大2ヶ月
無料!!

琉球大学の
関連記事は
コチラ



タイムスプラスの
お申し込みは
コチラ



おいしい幸せ
オキコ



- MY Color My Life -

ポケットランチ

好きな場所で、好きなタイミングで。
いろいろえらべるmyサンド!



郷土の資源で郷土をつくる

琉球セメント

沖縄の
くらしのために、
全力で

人の暮らしを「創る」ことに挑戦

中部興産グループ

中部興産株式会社

エナジー沖縄株式会社

興産アメニティ株式会社

沖縄エナジー機器株式会社

ZDO 財産ドック沖縄株式会社

介護子育て支援員住宅沖繩FCセンター

島と、 生きる。

沖縄のために、これからも、これからも。



琉球電力

2024年度同窓会三役・事務局長紹介



会長 **幸喜 徳子**
1966年教育学部体育科卒 14期
沖縄石油ガス(株) 代表取締役会長



副会長 **渡久山 秀治**
1987年農学部農芸化学科卒 35期
オキコ(株) 取締役生産本部長



副会長 **大城 純市**
1976年法文学部法政学科卒 24期
大城純市法律事務所 弁護士



副会長 **上原 修**
1983年法文学部社会学科卒 31期
元(株)琉球新報社編集局次長



副会長 **嶺井 圭子**
1975年教育学部体育科卒 23期
元中学校教諭



副会長 **神村 洋子**
1971年教育学部初等教育科卒 20期
元中学校校長



事務局長 **喜屋武 正志**
1978年理工学部生物学科卒 26期
元沖縄県警察警視

会報第 47号編集委員



(前列左から)
上原 修 編集委員長
比嘉 正幸 副委員長
喜屋武 正志 事務局長
(後列左から)
マロクインオーティス友美
平井 りい子
前泊 美紀
高嶺 久枝 書記

■ 会報第 47号編集委員

編集委員長／上原 修
編集副委員長／比嘉 正幸
編集委員顧問／当真 邦子
編集委員／平井 りい子
前泊 美紀
マロクインオーティス友美

■ 琉球大学同窓会会報第 47号

編集発行 琉球大学同窓会
〒903-0213 沖縄県西原町字千原 1 番地
Tel:098-895-8039 Fax:098-895-8163
E-mail: dousou06@jim.u-ryukyu.ac.jp
HP: https://dousoukai.skr.u-ryukyu.ac.jp/
印刷 新星出版株式会社

2024年度同窓会役員

役職	氏名	卒業(期・年・学科)	役職	氏名	卒業(期・年・学科)
会長	幸喜 徳子	14 1966 体育	評 議 員	宮平 進	25 1977 法政
副 会 長	渡久山 秀治	35 1987 農芸化学		米盛 智恵子	26 1978 養学課程
	大城 純市	24 1976 法政		宮城 伸子	26 1978 教員養成
	上原 修	31 1983 社会		比嘉 正幸	27 1979 短大部法経
	嶺井 圭子	23 1975 体育		菅間 玉美	27 1979 音楽
	神村 洋子	20 1971 初等教育		大城 正人	28 1980 法政
顧 問	市村 嘉久	2 1954 政治		蔵根 美智子	28 1980 教員養成
	比嘉 正幸	5 1957 政治学及び法学		大城 悦子	28 1980 教員養成
	赤嶺 健治	8 1960 英文		八重尾 悟	29 1981 教員養成
監 査 員	波平 正	23 1975 商学		平井 りい子	30 1982 文学
	小橋川 正光	23 1975 商学		根路 銘三 恵	31 1983 保健
評 議 員	津留 健二	4 1956 政治学及び法学		田崎 明美	31 1983 教員養成
	上原 政英	8 1960 畜産		大湾 知子	32 1984 保健
	当真 邦子	12 1964 体育		佐喜真 裕	36 1988 法政
	宮城 吉道	13 1965 畜産		仲里 隆司	36 1988 短大部法経
	照屋 寛八	17 1969 音楽		蔵下 要	37 1989 医学
	仲松 鈴子	17 1969 体育		崎原 正樹	37 1989 法政
	奥 キヌ子	18 1970 家政		上間 正敦	37 1989 法政
	石川 清勇	20 1972 商学		仲宗根 忠真	41 1993 法政
	島袋 君子	20 1972 体育		マロクインオーティス友美	44 1996 英文
	宮城 幸子	20 1972 初等教育	前泊 美紀	44 1996 法政	
員	上原 正信	21 1973 農学	友利 直子	45 1997 経済	
	安里 直子	21 1973 初等教育	池間 智政	50 2002 農学	
	宮城 重哲	24 1976 法政	赤嶺 太介	52 2004 総合社会	
	山田 稔	24 1976 養学課程	高嶺 美和子	53 2005 人文社会	
事務局長	安里 禮子	24 1976 英文	新田 繁睦	57 2009 教員養成	
	慶田 喜則	25 1977 数学	喜屋武 正志	26 1978 生物	

※評議員の上原政英氏は 2024年 10月 17日にご逝去されました。



本社 〒900-0001 沖縄県那覇市港町2-16-1
(琉球新報開発ビル2F)
TEL:098-866-0741 FAX:098-863-4850
HP <http://www.s-syuppan.com>



琉球大学 50周年記念館



ALUMNI ASSOCIATION UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

琉球大学同窓会



2025年度「定期総会」のご案内

- 期 日 2025年7月26日(土)
- 場 所 パシフィックホテル沖縄
那覇市西3-6-1 TEL 098-868-5162
- 日 程 支部長会 12:00～13:00
定期総会 14:00～15:00
基調講演・シンポジウム(内容企画中)
15:30～17:30
懇親会 18:00～19:30

※ 基調講演・シンポジウムの詳細については、ホームページ等でご案内します。